



すすむ愛知の軍事拠点化

小牧基地に隣接する三菱重工の小牧南工場が、アメリカなど多国籍軍のF35戦闘機の整備拠点にされようとしています。F35は核爆弾も搭載可能で、米核戦略に組み込まれる危険があります。

名古屋港には、米陸軍の高速で兵員輸送ができるストライカー装甲車などが陸揚げされました。滋賀県のあいば野演習場で、集団的自衛権行使を具体化する日米共同の実動演習を実施し、自衛隊と米軍が肩を並べて実戦訓練を行うとみられています。



三菱重工の小牧南工場で生産が開始されたF35



名古屋港に陸揚げされる米陸軍の兵器



航空自衛隊小牧基地所属の空中給油・輸送機KC767

日本共産党

衆議院議長 大島理森 様
参議院議長 伊達忠一 様

安保法制=戦争法のすみやかな廃止と、南スーダンPKOに自衛隊を派遣せず、
愛知を軍事拠点にさせないことを求める署名

平和安全保障関連法の成立後、愛知県の軍事拠点化が加速しています。小牧基地に隣接する三菱重工の小牧南工場が、アメリカなど多国籍軍のF35戦闘機の整備拠点にされようとしています。同工場では、F35の国内生産も開始しています。

名古屋港には、米陸軍の高速で兵員輸送ができるストライカー装甲車などが陸揚げされました。滋賀県のあいば野演習場で、集団的自衛権行使を具体化する日米共同の実動演習を実施し、自衛隊と米軍が肩を並べて実戦訓練を行うとみられています。

平和安全保障関連法の成立で、国連平和維持活動（PKO）で「駆けつけ警護」など、新たな任務が可能になりました。11月に、内戦が激化している南スーダンに派遣される自衛隊に適用する計画で、今後、守山、春日井、豊川などの自衛隊も派遣される危険があります。さらに、8月24日、県営名古屋空港から空中給油機KC767が自衛隊員を乗せて、北東アフリカ・ジブチへ。米軍との連携を強化するために、在外邦人退避訓練を行いました。戦争法により紛争地での武器の使用も容認され、在外邦人の救出行動は、武力行使をとまなう軍事作戦になる危険があります。

戦後初めて、自衛隊が海外で「殺し、殺される」事態が現実のものになりつつあります。私たちはこの事態を黙って見ているわけにはいきません。

以上の趣旨から、次の項目についてお願いします。

要請事項

- 一、南スーダンPKOに参加する自衛隊に、「平和安全保障関連法」を発動しないでください。
- 一、F35の整備拠点化など愛知県の軍事拠点化を中止してください。
- 一、戦争法である「平和安全保障関連法」をすみやかに廃止してください。

氏 名	住 所

取扱い団体

呼びかけ

日本共産党

地区委員会